

苫小牧市

# 毎月22日は吸わんデー

## 市職員を対象に禁煙日

苫小牧市は今月から、毎月22日をすべての市職員を対象とした禁煙の日「スワンスワンデー」とする。市庁舎などに取り組みをPRするポスターを掲示し、啓発に乗り出す。

### 健康的な労働環境整備へ

労働環境改善の一環で毎月22日、勤務時間の午前8時45分から午後5時15分まで、市役所に隣接する職員会館内にある喫煙所を施設し、職員に禁煙を呼び掛ける。

市はこの日を「非喫煙者と喫煙者が、喫煙の健康に対する害を認識する日」と位置付け、「継続することで健康被害について職場内で話題にしたり、より健康的な労働環境の醸成につなげたい」と総務部給与厚生課 考えだ。

職員の健康などについて話し合う庁内の安全衛生委員会が、禁煙を推進する30の医科歯科関係学会でつくる禁煙推

進学術ネットワーク(東京)が2010年2月22日に制定した「スワンスワンデー」の取り組みを知り、市の無煙デーとして採用した。同ネットワークによると、

17年に実施した市職員の健康診断問診票データによると、市職員の喫煙者は職員全体の26・5%に上る。

数字の「22」を白鳥(スワン—吸わん)に見立て、一人でも我慢するのではなく、専門の医師や家族、友人などのサポートを得ながら禁煙に取り組んでほしいとの願いを込めた。2羽が寄り添う22にちなみ、毎月22日を禁煙の日に定めたという。



禁煙を呼び掛ける「スワンスワンデー」の啓発ポスター